

Chapter 02

価値創造プロセス

価値創造プロセス | 積み上げてきた強み | 垂直統合型ビジネスモデル | デジタルインフラトップ企業へ

価値創造プロセス

企業理念

「やりたいこと」を「できる」に変える P.3

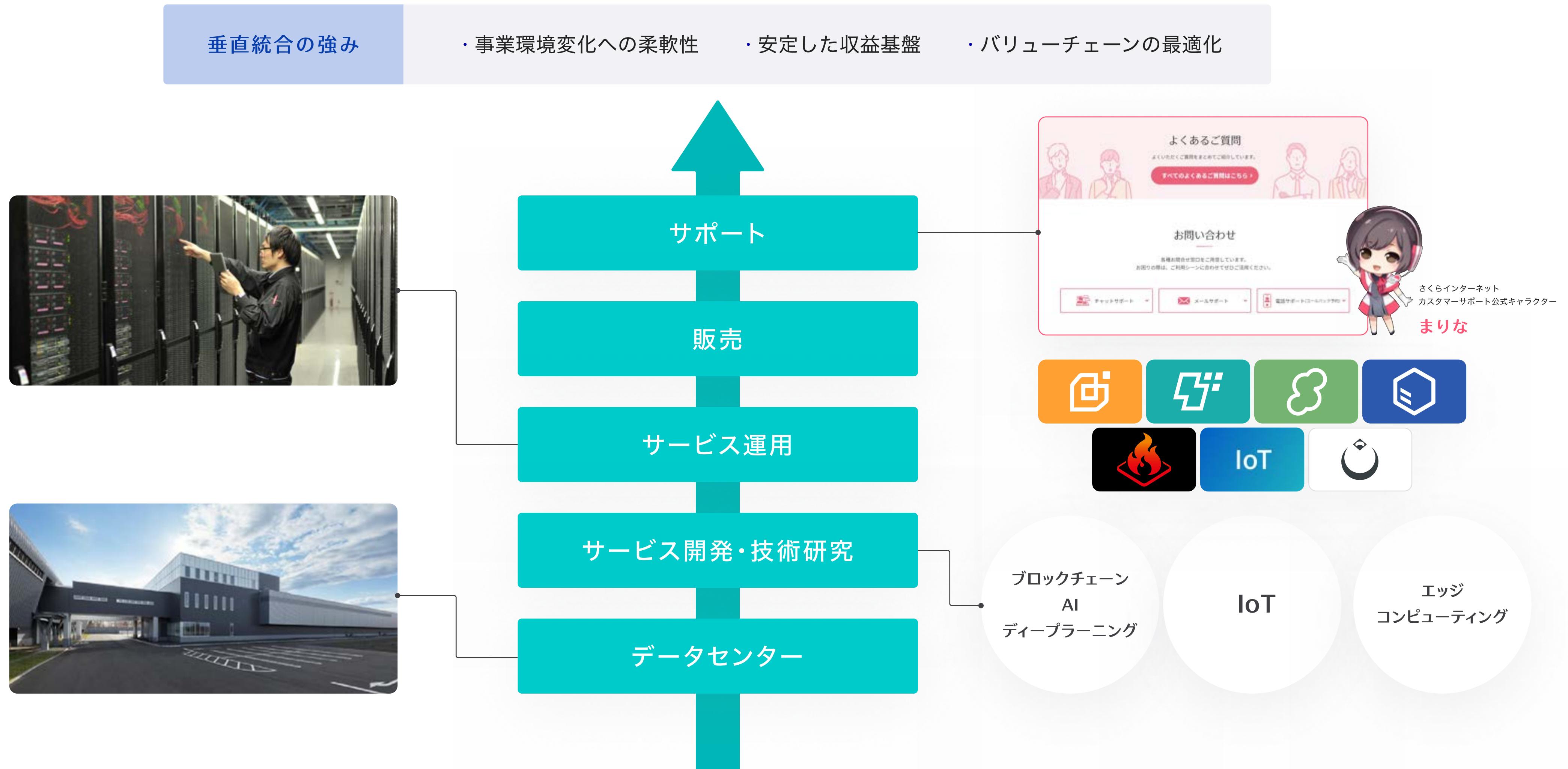


垂直統合型・自前主義のビジネスモデルにより積み上げてきた強み

さくらの強み	積み上げてきた資産	資本
<p>事業環境変化への柔軟性</p> <p>インターネット黎明期に創業し、時代に合ったサービスを提供しながら成長</p>	<ul style="list-style-type: none"> レンタルサーバー事業、サーバービジネス、クラウドサービスへとサービスの軸足を変えながら、48万の顧客基盤を有するクラウド事業者として成長 トレンドに応じた技術的取り組みによりスキル・知見・ノウハウを蓄積（都市型データセンター運営からブロックチェーン、AI・ディープラーニング、IoT、エッジコンピューティング、衛星データプラットフォームまで幅広い技術的取り組みを実施） 柔軟性、即応性、拡張性に優れ、デジタル時代に対応した、サステナブルなデータセンターを自社で保有・運営（石狩データセンター：再生可能エネルギー100%で稼働する環境配慮型データセンター） 	<p>知的・技術資本</p> <p>社会関係資本</p> <p>自然資本</p>
<p>安定した収益基盤</p> <p>48万の顧客基盤と、月額課金モデルのストック型ビジネス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 48万の顧客基盤と月額課金モデルのストック型ビジネスを軸に、継続的な収益を獲得。大口顧客と小口顧客のバランスの取れた売上構成で、安定した収益基盤を維持 パートナーとの勉強会、顧客との交流会、自社人員によるサポート体制などを通じて顧客やパートナーとの持続的な関係を継続し、当社・パートナー・顧客のエコシステムを構築 	<p>財務資本</p> <p>社会関係資本</p>
<p>バリューチェーンの最適化</p> <p>サービスの自社開発と一気通貫の体制により、バリューチェーンの最適化が可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> サービス開発から保守・運用、顧客サポートまで垂直統合型のビジネスモデルにより、顧客のニーズを吸い上げ、短期間で新サービスや新機能を投入できるサービス開発力や、顧客ニーズに即応できる対応力を蓄積 サービスの自社開発によりコストコントロールが可能。また、為替や社会情勢などの影響が限定的 自社サービスをつくる環境により、顧客志向をもちながら、テクノロジーを生み出し、活用できる優秀なエンジニアを獲得・育成 	<p>財務資本</p> <p>知的・技術資本</p> <p>人的資本</p>

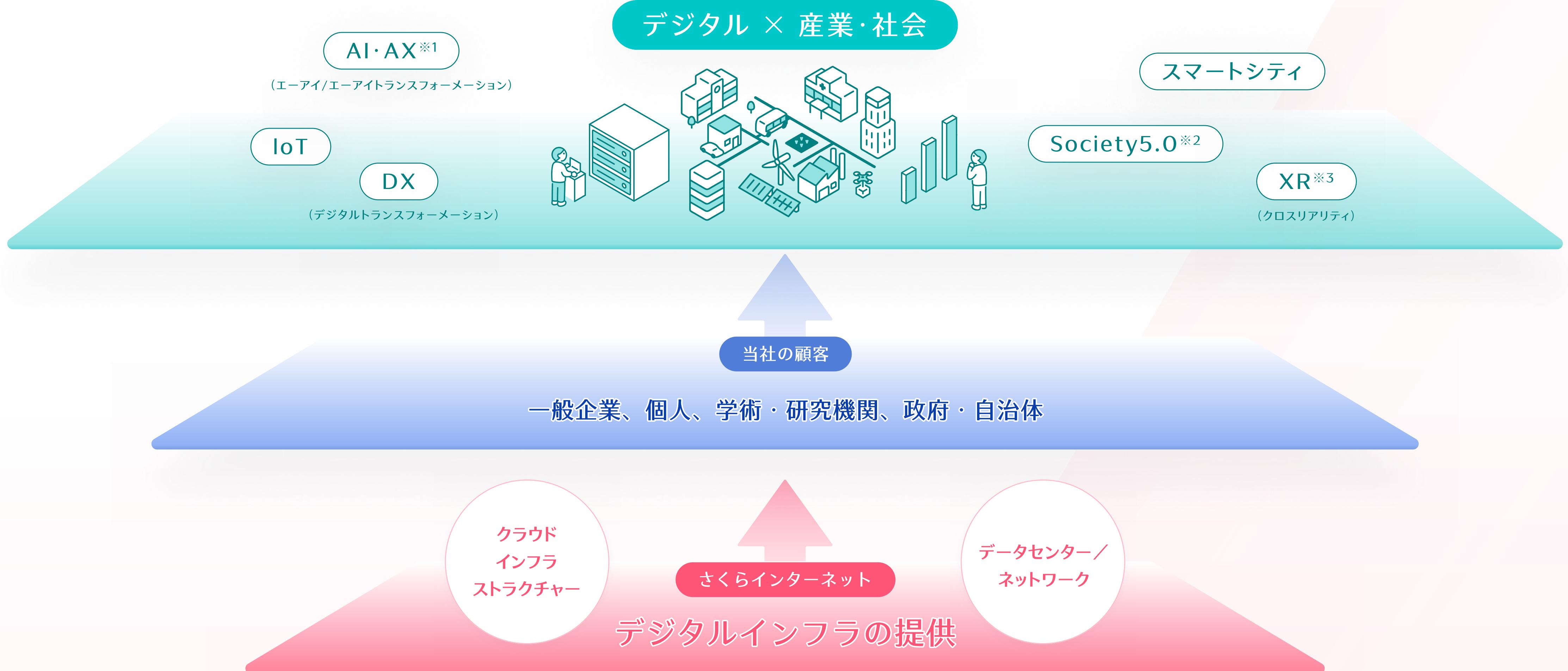
垂直統合型ビジネスモデル

さくらインターネットは、データセンターを自社で所有し、サービスの開発や技術研究、運用、販売、サポートまで一貫して行う、垂直統合型・自前主義のビジネスモデルを築いてきました。これにより、お客さまの「やりたいこと」を柔軟かつスピーディに実現することが可能となります。



デジタルインフラトップ企業へ

デジタルインフラを提供することで、今後さらに加速していくデジタル前提の社会を支えます。
デジタル前提の社会に國の境界線はありません。日本を越えてさらに幅広いお客さまにとって不可欠な存在となるように貢献していきます。



*1 AX : AI TRANSFORMATION の略。企業や組織がAI（人工知能）を活用して業務や戦略を変革すること

*2 Society 5.0 : ソサエティ5.0は、日本政府が提唱する未来社会のコンセプト。サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のこと

*3 XR : クロスリアリティ の略称。現実世界と仮想世界の組み合わせにより新たな体験を生み出す技術全般を指す。AR (拡張現実)、VR (仮想現実)、MR (複合現実) といった技術の総称